

船舶事故等調査報告書

平成22年10月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第280号	
事故等種類	定置網損傷	
発生日時	平成21年11月7日（土） 19時00分ごろ	
発生場所	千葉港葛南区 千葉県市川市千葉港市川第1号灯浮標から真方位259° 1,530m付近（概位 北緯35°38.0′ 東経139°57.5′）	
事故等調査の経過	平成21年11月24日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 船体・機関等の関与 乗組員等に関する情報	
	モーターボート ^{テティス} THETIS、5トン未満（長さ6.84m） 231-7301千葉、個人所有 船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	本船 プロペラ1枚曲損 定置網 のり網5枚損傷	
事故等の経過	本船は、船長ほか2人が乗船し、マリーナに帰航するため約18～20ノットの速力で千葉港葛南区の三番瀬付近を東進中、平成21年11月7日19時00分ごろ、定置網に進入し、同網をプロペラに巻き込んで航行不能となった。 本船は、船長が海上保安庁及びボートレスキューサービス（BAN）に通報し、BANの救助船にえい航されてマリーナに帰港した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北北東、風力 2、視界 良好 海象：海面 穏やか	
その他の事項	船長は、昼間、定置網の近くを航行した経験があったが、GPSに定置網の範囲を入力していなかった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、千葉港葛南区の三番瀬付近を東進中、船長が、GPSに定置網の範囲を入力していなかったため、定置網に接近していることに気付かず、定置網に進入してプロペラに網を巻き込み、航行不能になったものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、千葉港葛南区の三番瀬付近を東進中、GPSに定置網の範囲を入力していなかったため、定置網に進入したことにより発生したものと考えられる。	